

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	経済原論Ⅱ	担当教員	森合 秀行
		(実務の経験)	有・ 無
対象学科・学年 コース	公務員上級学科	学期・区分	後期・必修
		授業週数	15週
授業の形式	講義・問題演習	単位数・時間	7単位・105時間
授業の概要	後期はミクロ経済学の残りとマクロ経済学を中心に講義を進めていく。マクロ経済の基本(ケインズ経済学の有効需要の原理)を理解することを目標に授業に臨む。公務員試験の問題に対応できるように、実践的な問題演習をする		
到達目標	マクロ経済学の基本的な理論を理解する。公務員試験の問題を解いていく。問題を解くための数学的な基本知識を習得する。公務員大卒程度試験の合格を目指す。難解な問題を避け、基本問題を解く力を身に着ける。		
使用教材等	『スーパー過去問ゼミ マクロ経済学』(実務教育出版)		
授業計画			
第1週	テーマ22 比較生産費説と貿易三角形 リカード・モデルに基づいた自由貿易理論を理解する。 テーマ24 貿易理論 ミクロ経済学の代表的な貿易理論を理解する。		
第2週	マクロ経済学(ケインズ経済学)が生まれた背景と有効性について理解する。テーマ1 GDP統計 GDPの概念、構成要素、三面等価の原則、物価指数を理解する。 テーマ2 産業連関表 読み方、処理手順を理解する。		
第3週	テーマ3 有効需要の原理 ケインズ理論の基本を理解する。45度線分析、財市場の需要要因、インフレギャップとデフレギャップを理解する。		
第4週	テーマ4 乗数理論 様々な乗数の基本概念、処理手順を理解する。		
第5週	テーマ5 消費関数 ケインズの消費関数の欠陥を補う諸理論を理解する。貯蓄関数を理解する。		
第6週	テーマ6 投資の限界効率理論 割引現在価値や期待収益率と利子率との関係を理解する。 テーマ7 投資理論 加速度原理、資本ストック調整原理、新古典派の投資理論、トービンのqを理解する。		
第7週	テーマ8 金融資産市場 信用創造、マネーストック、ハイパワードマネー、イールドカーブコントロール、債権価格と利子率の関係を理解する。 テーマ9 貨幣理論 貨幣数量説、流動性選好について理解する。		
第8週	テーマ10 IS-LM分析(1) IS曲線、LM曲線、流動性のわな、IS-LM分析における財政政策と金融政策の有効性を理解する。		
第9週	テーマ11 IS-LM分析(2) クラウディング・アウト、租税と公債の政策効果、マネタリストの金融政策を理解する。		
第10週	テーマ12 国際マクロ経済学 国際収支、外国為替、マンデル・フレミング・モデル、マンデル・フレミング・モデルの固定相場制と変動相場制の場合の金融政策と財政政策の有効性について理解する。		
第11週	テーマ13 総需要曲線 IS-LM分析から導出されることを理解する。シフトと形状を理解する。		
第12週	テーマ14 労働市場と総供給曲線 AD-AS分析。労働需要と古典派の第一公準を理解する。労働供給と古典派の第二公準を理解する。非自発的失業、古典派とケインズの総供給曲線の違いを理解する。		
第13週	テーマ15 フィリップス曲線 フィリップス曲線と自然失業率仮説、経済政策論争を理解する。		
第14週	テーマ14 インフレ需要曲線・供給曲線 基本概念、オーカンの法則、処理手順を理解する。		
第15週	テーマ15 ハロッド＝ドーマーの成長理論 保証成長率、自然成長率、現実の成長率、不安定性原理について理解する。 テーマ16 新古典派の成長理論 ソロー＝スワン・モデルを理解する。		
第16週			
成績評価の方法	期末テスト80%・授業参加度20%により100点満点で評価する。		
学生へのメッセージ	難解な経済学を克服して、公務員試験に合格しましょう。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	憲法Ⅱ	担当教員	佐藤 伸弘
		(実務の経験)	有・無
対象学科・学年 コース	公務員上級学科	学期・区分	後期・必修
		授業週数	15週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	4単位・60時間
授業の概要	日本の最高法規である日本国憲法を制定趣旨・制定過程まで遡り、①自由の基礎法、②制限規範、③国民の権利について定めた「人権」、国の政治の仕組みを定めた「統治」を的確に指導し、演習問題等を繰り返し必要な知識の定着を図ります。		
到達目標	「人権」では公務員試験の出題実績を踏まえ、判例の骨子(キーワード)を的確に指導します。「統治」では判例、学説等の知識を修得します。定期的な条文テストを通じ、公務員試験憲法分野における合格点到達を目指します。		
使用教材等	公務員Vテキスト憲法(TAC出版) 過去問精選問題集 出たDATA問(11)憲法(東京アカデミー七賢出版) ポケット六法2025(有斐閣)		
授業計画			
第1週	・統治(国会①) ・過去問演習、条文テスト		
第2週	・統治(国会②) ・過去問演習、条文テスト		
第3週	・統治(内閣①) ・過去問演習、条文テスト		
第4週	・統治(内閣②) ・過去問演習、条文テスト		
第5週	・統治(裁判所①) ・過去問演習、条文テスト		
第6週	・統治(裁判所②) ・過去問演習、条文テスト		
第7週	・統治(裁判所③) ・過去問演習、条文テスト		
第8週	・統治(統治まとめ) ・過去問演習、条文テスト		
第9週	・人権(前文) ・人権(人権の主体)		
第10週	・人権(平等権) ・人権(精神的自由①)		
第11週	・人権(経済的自由①) ・人権(人身の自由)		
第12週	・人権(社会権) ・人権(参政权)		
第13週	・期末試験対策 ・期末試験		
第14週	・人権及び統治の総まとめ		
第15週	・最新判例及び違憲判決の確認		
第16週			
成績評価 の方法	期末テスト60% 単元(条文)テスト30% 授業態度10%により総合的に評価します。		
学生への メッセージ	テキスト(問題集)、ポケット六法を準備ください。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	行政法Ⅱ	担当教員	佐藤 伸弘
		(実務の経験)	○・ 無
対象学科・学年 コース	公務員上級学科	学期・区分	後期・必修
		授業週数	15週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	4単位・60時間
授業の概要	行政法は、①行政組織法、②行政作用法、③行政救済法に分類されます。国(地方公共団体)と国民(住民)との法的関係について、講学上の概念、条文、判例のポイント及び横断的な学習を通じ、公務員合格に必要な知識を修得します。		
到達目標	公務員試験の出題実績を踏まえ、判例の骨子(キーワード)、条文及び講学上の概念を的確に指導します。また、単元テストを通じ、確実な知識の定着を図ります。		
使用教材等	公務員Vテキスト行政法(TAC出版) 過去問精選問題集 出たDATA問(13)行政法(東京アカデミー七賢出版) ポケット六法2025(有斐閣)		
授業計画			
第1週	・行政法全体像の把握(プリントを使用) ・行政法総論		
第2週	・行政法全体像の把握(プリントを使用) ・行政法総論		
第3週	・行政法作用(行政行為①) ・過去問演習、単元テスト		
第4週	・行政法作用(行政行為②) ・過去問演習、単元テスト		
第5週	・行政法作用(行政上の強制措置) ・過去問演習、単元テスト		
第6週	・行政法作用(行政手続法①) ・過去問演習、単元テスト		
第7週	・行政法作用(行政手続法②) ・過去問演習、単元テスト		
第8週	・行政法作用(情報公開法) ・過去問演習、単元テスト		
第9週	・行政救済(損失補償) ・過去問演習、単元テスト		
第10週	・行政救済(国家賠償法①) ・過去問演習、単元テスト		
第11週	・行政救済(国家賠償法②) ・過去問演習、単元テスト		
第12週	・行政救済(行政不服審査法①) ・過去問演習、単元テスト		
第13週	・行政救済(行政不服審査法②) ・過去問演習、単元テスト		
第14週	・行政救済(行政事件訴訟法①) ・過去問演習、単元テスト		
第15週	・行政救済(行政事件訴訟法②) ・過去問演習、単元テスト		
第16週			
成績評価 の方法	期末テスト60% 単元(条文)テスト30% 授業態度10%により総合的に評価します。		
学生への メッセージ	テキスト(問題集)、ポケット六法を準備ください。		
実務経験	平成22年8月に行政書士事務所を開業し、行政機関へ提出する許認可申請に関する業務を受任しています。具体的な事例を活用しながら公務員試験合格に必要な知識を養います。		

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	時事研究Ⅱ	担当教員	佐藤 伸弘
		(実務の経験)	有・ 無
対象学科・学年 コース	公務員上級学科	学期・区分	後期・必修
		授業週数	15週
授業の形式	講義・問題演習	単位数・時間	3単位・45時間
授業の概要	時事問題に触れながら、問題点を考え学習します。マスメディアを通じ、社会に関心を持ち社会に貢献できる人間の育成を目指します。 特に、世界史を基本に国際関係に関する知識を重視する。		
到達目標	公務員として必要な時事の知識を世界史や国際関係の視点から理解する。 公務員大卒程度試験の合格を目指す。		
使用教材等	『スーパー過去問ゼミ 国際関係』(実務教育出版) 『スーパー過去問ゼミ 財政学』(実務教育出版) 公務員試験 プリント		
授業計画			
第1週	冷戦の終結 米ソの対立から緊張緩和や軍縮交渉の流れを理解する。ソ連のゴルバチョフの改革後、社会主義諸国に民主化が進み、ソ連の崩壊で冷戦が終結する過程を理解する。		
第2週	各地の紛争 中東地域を中心に4回の中東戦争、イラン＝イラク戦争、湾岸戦争、アメリカ同時多発テロ事件などが発生することを理解する。		
第3週	中国史(殷・周) 殷が最初の王朝であることを甲骨文字で理解し、祭政一致の支配体制を理解する。周の封建制を理解する。		
第4週	中国史(春秋戦国・秦・漢) 春秋時代の覇者について理解する。戦国時代の下克上について理解する。秦の始皇帝の中央集権支配について理解する。漢の支配体制と文化について理解する。		
第5週	中国史(魏晉南北朝時代) 後漢滅亡後の中国の混乱について理解する。三国時代・晋・五胡十六国・北魏・東晋・南朝という王朝の変遷について理解する。		
第6週	中国史(隋・唐) 隋の均田制・租庸調制・府兵制・科挙について理解する。唐の律令制度について理解する。		
第7週	中国史(宋・元) 唐末・五代の支配階層の交代について理解する。宋の文治主義について理解する。征服王朝(遼・金)について理解する。モンゴル帝国の成立と元の中国支配について理解する。		
第8週	中国史(明・清) 明の漢民族の王朝復活と北虜南倭について理解する。清の満州族支配体制について理解する。清末のアヘン戦争後の欧米の侵略過程を理解する。		
第9週	中国史(辛亥革命と日本の侵略) 孫文による中国革命について理解する。国民党と共産党の対立について理解する。日本の中国侵略の過程を理解する。		
第10週	中国史(中華人民共和国の成立) 第二次大戦後の中国と中華人民共和国の成立について理解する。共産主義体制の下での国家建設を理解する。		
第11週	中国史(文化大革命と経済発展) 文化大革命による中国の混乱とその後の改革開放による経済発展について理解する。		
第12週	国際関係論 国際政治についてと国際連合。		
第13週	国際関係論 国際関係の理論、リアリズムとリベラリズムについて。国家一般職の問題演習。		
第14週	財政学 国家財政について。		
第15週	財政学 地方財政について。		
第16週			
成績評価の方法	期末テスト80％・授業参加度20％により100点満点で評価する。		
学生へのメッセージ	公務員試験の一般教養試験の実力をつけよう。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	数的推理Ⅱ	担当教員	津嶋 朋也
対象学科・学年 コース	公務員上級学科	(実務の経験)	有・ 無
		学期・区分	後期・必修
		授業週数	15週
授業の形式	講義・演習	単位数・時間	2単位・30時間
授業の概要	数学の基礎知識をもとにした柔軟な思考、問題解決法を身に付けられるように進めていくとともに、公務員試験の数的推理分野で高得点が取れるようにする。		
到達目標	数的推理の分野、全範囲において数学の基礎知識をもとにした柔軟な思考、問題解決法を身に付ける。		
使用教材等	上・中級公務員標準数的推理(改訂版)実務教育出版		
授業計画			
第1週	第8章 速さ・距離・時間(講義と演習):8章の基本的な内容の問題を中心に行い、解法を身に付ける。		
第2週	第8章 速さ・距離・時間(講義と演習):8章の通過算や旅人算などの問題を中心に行い、解法を身に付ける。		
第3週	第9章座標・グラフ(講義と演習):ダイアグラムを中心に問題を解き、図の書き方や解くポイントを理解する。		
第4週	第10章平面図形(講義と演習):平面図形の性質や解法を身につける。図形を正確に処理する。		
第5週	第10章平面図形(講義と演習):平面図形の性質や解法を身につける。図形を正確に処理する。		
第6週	第11章平面図形その2(講義と演習):図形を利用した問題の解法を身につける。		
第7週	第11章平面図形その2(講義と演習):図形を利用した問題の解法を身につける。		
第8週	第12章平面図形その3(講義と演習):主に円に関する知識や公式を身につける。また、円に関する問題の解法を身につける。		
第9週	第12章平面図形その3(講義と演習):主に円に関する知識や公式を身につける。また、円に関する問題の解法を身につける。		
第10週	第13章空間図形(講義と演習):立体図形に関する性質や問題の解法を身につける。		
第11週	第13章空間図形(講義と演習):立体図形に関する性質や問題の解法を身につける。		
第12週	第14章場合の数(講義と演習):基本的問題から応用問題の解法を身につける。		
第13週	第15章確率(講義と演習):基礎的な知識や問題の解法を身につける。		
第14週	第15章確率(講義と演習):基本的問題から応用問題の解法を身につける。		
第15週	期末テストを行い、知識や解法を確認する。		
第16週			
成績評価の方法	期末テスト60%、小テスト30%、授業参加度10%により総合的に評価する。		
学生へのメッセージ	毎日の積み重ねが重要です。復習を重視して、頑張りましょう。		
実務経験			

ケイセンビジネス公務員カレッジ 2025年度シラバス

科目名	民法Ⅱ	担当教員	佐藤 伸弘
		(実務の経験)	☒ 有・無
対象学科・学年 コース	公務員上級学科	学期・区分	後期・必修
		授業週数	15週
授業の形式	講義、演習	単位数・時間	8単位・120時間
授業の概要	民法は、①総則、②物権、③債権、④親族、⑤相続で構成されています。難解な条文及び判例を日常生活の事例等から柔軟に把握し、改正条文や最高裁判例の学習を中心に、過去に出題された問題のみならず、予想問題にも適応できる能力を修得します。		
到達目標	膨大な条文から過去の公務員試験の出題実績を踏まえ、効率的に学習指導します。また、定期的な単元テストを実施することにより、重要知識の集約と事務処理能力の向上を図ります。		
使用教材等	公務員Vテキスト民法(下)(TAC出版) 過去問精選問題集 出たDATA問(12)民法(東京アカデミー七賢出版) ポケット六法2025(有斐閣)		
授業計画			
第1週	・債権の目的、債務不履行 ・過去問演習、単元テスト		
第2週	・責任財産の保全 ・過去問演習、単元テスト		
第3週	・多数当事者の債権債務関係 ・過去問演習、単元テスト		
第4週	・債権譲渡等 ・過去問演習、単元テスト		
第5週	・弁済、相殺 ・過去問演習、単元テスト		
第6週	・契約の効力、契約の解除 ・過去問演習、単元テスト		
第7週	・売買契約 ・過去問演習、単元テスト		
第8週	・贈与契約、賃貸借契約 ・過去問演習、単元テスト		
第9週	・消費貸借契約、請負契約 ・過去問演習、単元テスト		
第10週	・委任契約 ・過去問演習、単元テスト		
第11週	・一般不法行為 ・過去問演習、単元テスト		
第12週	・特殊な不法行為 ・過去問演習、単元テスト		
第13週	・婚姻、親子 ・過去問演習、単元テスト		
第14週	・相続人、相続の効力 ・過去問演習、単元テスト		
第15週	・相続の承認及び放棄、配偶者居住権及び遺留分 ・過去問演習、単元テスト		
第16週			
成績評価の方法	期末テスト60% 単元(条文)テスト30% 授業態度10%により総合的に評価します。		
学生へのメッセージ	テキスト(問題集)、ポケット六法を準備ください。		
実務経験	平成22年8月に行政書士事務所を開業し、民事法務(契約書及び相続・遺言書作成、任意後見業務等)を受任しています。具体的な事例を活用しながら公務員試験合格に必要な知識を養います。		